

二面石仏



A

吉備の中山に住む山の神が春には里に下りて田の神として作物の豊作を見守り、秋の収穫祭が終わると山に帰り、山の神になるとの伝えがある。

大井戸



B

昔、笹ヶ瀬川に近い場所では井戸を掘っても塩水が出たため、川舟に水桶を積んで、この井戸まで飲用水を汲みに来ていた。

舟だまり



C

水運が大切な輸送手段だった頃、この場所は舟が出入りする船溜まりであった。

比丘尼橋



D

矢坂山にあった富山城が攻められた時、城主の松田元親は愛妾のお牧を城外に逃がした。松田が滅びた後、お牧は尼となり松田の菩提を弔い余生を送った。当時、笹ヶ瀬川には橋が無く、人々が難渋していたので、尼(お牧)は私財を投げ打って橋を架けた。人々は尼の徳を偲んで、この橋を比丘尼橋と呼んだ。

ももっ子広場



E

笹ヶ瀬川の横にある広場。桃太郎伝説にちなんで「ももっ子広場」と命名。ウォーキングや散歩の時の休憩や親子などで遊んだりできる。現在、月1回プレーパークなど楽しいイベントも行われている。

塩之免



F

この場所は海水の影響が強く、米が思うように収穫できないために、年貢を免除されたことから、この名が付いたと考えられている。

メモ